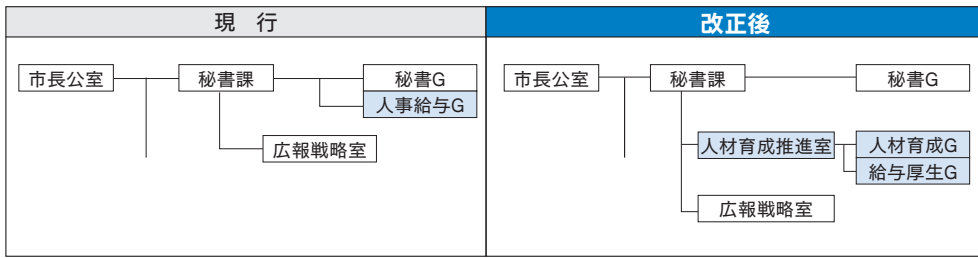


令和4年度 市の組織機構が変わりました

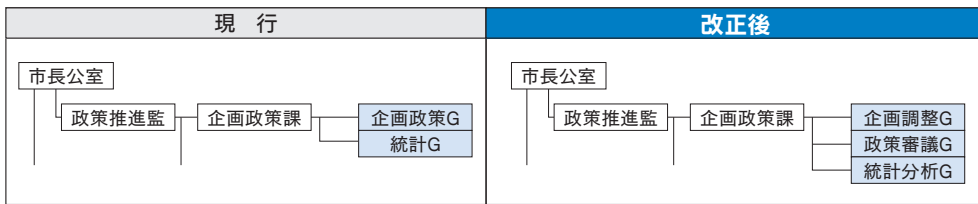
広域的な行政サービスの変化や市民の多様化する行政需要に対し、きめ細かく質の高いサービスの提供を図るため、効率的な事業の推進を目指し、4月1日から下記のとおり組織機構を改編しました（Gはグループ）。

1. 市長公室秘書課の改編



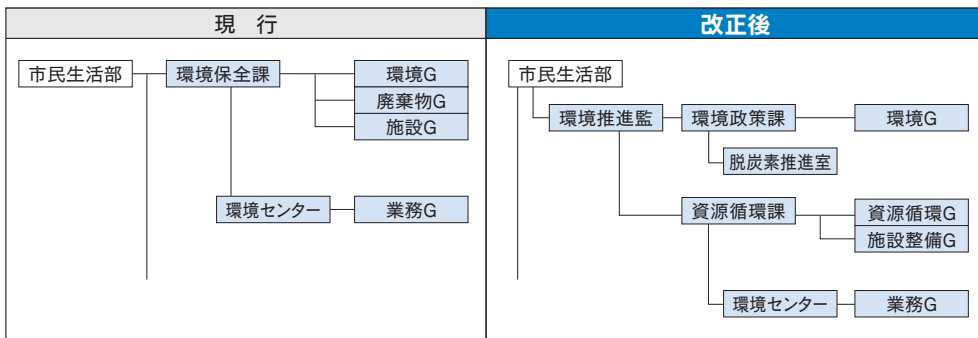
限られた人員で最大限の効果を発揮するには、個々の職員の能力とやる気の向上が必要となることから、職員の人材育成と働きやすい職場環境の推進を図るため、秘書課の「人事給与G」を「人材育成推進室」とし、「人材育成G」と「給与厚生G」を配置しました。

2. 市長公室企画政策課のグループ改編



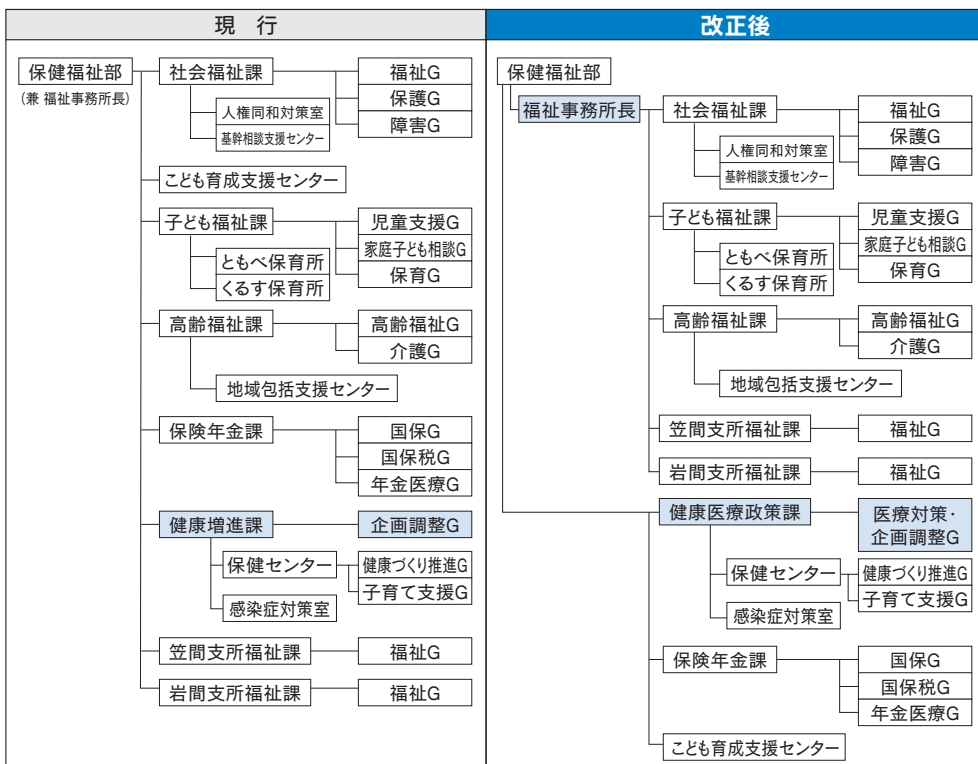
多様化する課題への対応力の向上に向けて、総合力と企画力の強化を図るため、「企画政策G」を「企画調整G」と「政策審議G」に分割し、「統計G」を「統計分析G」に名称変更しました。

3. 市民生活部の改編



脱炭素社会の実現、資源の循環、廃棄物処理体制の確立に向けて、より強力に推進するため、市民生活部長の下に「環境推進監」を置き、「環境保全課」を「環境政策課」と「資源循環課」に分割し、「環境政策課」に「環境G」と「脱炭素推進室」を、「資源循環課」に「資源循環G」「施設整備G」「環境センター」を配置しました。

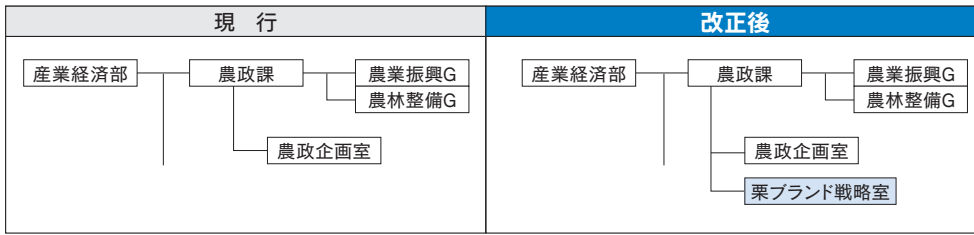
4. 保健福祉部の改編



高齢者の増加や感染症対策など、今後の地域医療の在り方が問われている現状に対し、在宅医療を充実させ、予防対策も視野に入れた環境を整備するため、「健康増進課」を「健康医療政策課」とし、「企画調整G」を「医療対策・企画調整G」としました。

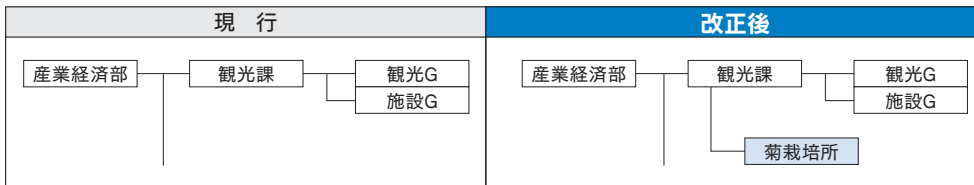
また保健福祉部の業務量が増大することから、現在保健福祉部長が兼務している「福祉事務所長」を保健福祉部長の下に置き、福祉関係業務を所管しました。

5. 産業経済部農政課に栗ブランド戦略室を新設



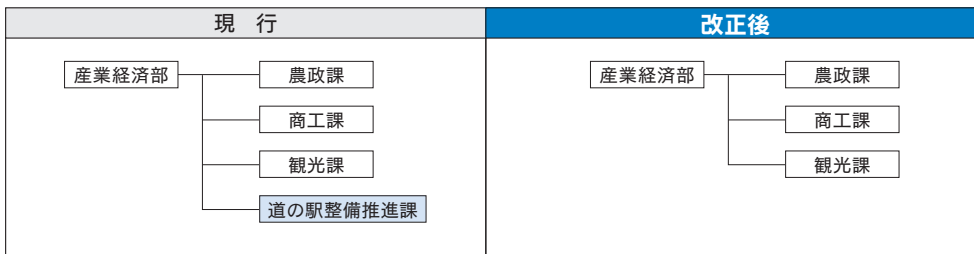
笠間市を代表する地場農産物である栗のブランディング戦略をより強力に推進するため、農政課に「栗ブランド戦略室」を設置しました。

6. 産業経済部観光課に菊栽培所を新設



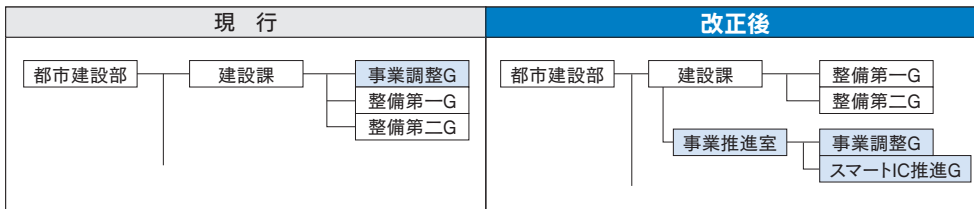
本市の観光資源の一つである伝統ある菊まつりの継続・推進のため、観光課に「菊栽培所」を組織として位置づけ、菊栽培の継承と強化を図ります。

7. 産業経済部道の駅整備推進課の廃止



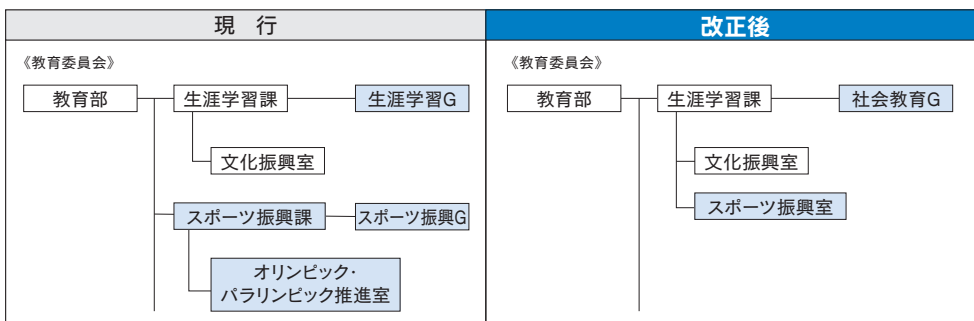
「道の駅かさま」が令和3年9月にオープンし、整備事業が終了したため、「道の駅整備推進課」を廃止しました。令和4年度から、施設の管理業務や道の駅かさまとの連携業務は、観光課が所管します。

8. 都市建設部建設課に事業推進室を新設



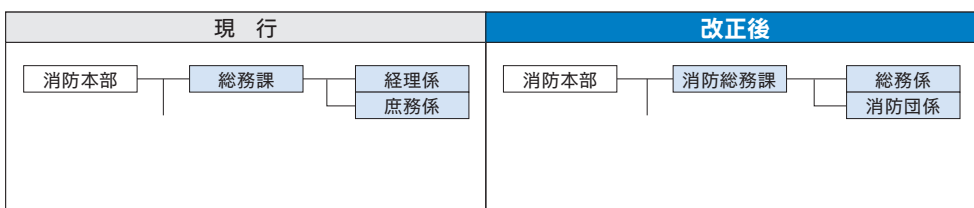
令和3年8月に新規事業箇所と決定された笠間PAスマートIC建設事業の推進のため、建設課に「事業推進室」を設置し、「事業調整G」と「スマートIC推進G」を置き、令和8年度末の供用開始を目指します。

9. 教育部生涯学習課とスポーツ振興課の改編



東京オリンピック・パラリンピックが終了したことと令和4年度にスポーツコミッションを法人化し組織体制の強化を図ることに伴い、教育部の生涯学習課とスポーツ振興課を再編し、生涯学習課が文化・スポーツの振興を担うこととしました。このことから、生涯学習課に「スポーツ振興室」を設置し、スポーツコミッションと連携しながらスポーツのまちづくりを進めます。

10. 消防本部総務課の名称変更



「消防本部総務課」を市長部局の総務部総務課と区別し分かりやすくするため、名称を「消防総務課」としました。また実施事務の内容と名称との整合性を図るため、「経理係」を「総務係」とし、「庶務係」を「消防団係」としました。

問 秘書課（内線551）